

問1 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握^{にぎ}って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。

問2 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。

問3 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。

問4 てこのつり合いのきまりによると、てこがつり合っているとき、「左のおもりの重さ×左のうでの支点からのきより」の値は、右側のどのような計算から求められる値と等しくなりますか。

問5 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

問6 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

問7 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。

問8 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、力点と支点の間隔^{かんかく}はどのようにすればよいですか。

問9 てこを使うとき、支点と作用点の位置を変えずに、力点を支点から遠ざけていくと、手ごたえや必要な力はどのように変化しますか。

問10 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのように表されますか。

問11 理科の実験などで、手で押し^おしたり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。

問12 力点と支点の位置を変えないとき、重いものをより小さな力で楽に持ち上げるためには、作用点をどのように動かせばよいですか。

問13 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点到近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

問14 てこを使って、ものに力がはたらく位置のことを何といいますか。

問15 てこのうでをかたむける力の大きさを表すもので、「おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）」の積で表されるものを何といいますか。

問16 空きかんつぶし器は、てこの仕組みを利用した道具です。この道具において、支点と力点の間にある部分はどこですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 力点	はさみを使うときに指で握 ^{にぎ} って力を加える部分は、てこに力を加える位置である「力点」にあたります。
問2	答え おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）	てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、おもりの数（力の大きさ）と支点からのきより（長さ）の「積（かけ算）」で表されます。
問3	答え 支点	はさみやくぎぬきは、支点が作用点と力点の間にある道具の代表的な例です。
問4	答え 「右のおもりの重さ×右のうでの支点からのきより」	てこのつり合いのきまりでは、左右それぞれで「おもりの重さ」と「支点からのきより」をかけ算した値が等しくなります。
問5	答え てこのつり合いのきまり	てこがつり合うとき、左右の「おもりの重さ×支点からのきより」が等しくなることを「てこのつり合いのきまり」といいます。
問6	答え せんぬき	せんぬきは、作用点が支点と力点の間にあるてこの仕組みを利用した道具です。
問7	答え 力点が間にある道具	力を加える「力点」が、支える「支点」と仕事をする「作用点」の間にある道具のことを「力点が間にある道具」と呼びます。
問8	答え 力点を支点から遠くにする	てこでは、力点を支点から遠くにするほど、重いものを小さな力で持ち上げることができます。
問9	答え 手ごたえが小さくなり、小さな力で持ち上げられるようになる。	支点と作用点の位置を変えないとき、力点が支点から遠ざかるほど手ごたえは小さくなり、小さな力で重いものを持ち上げることができます。
問10	答え おもりの重さ×支点からのきより	てこをかたむけるはたらきは「おもりの重さ×支点からのきより」で表されます。
問11	答え ものの重さ	力の大きさは、台ばかりなどの目盛りを使って、ものの重さにおきかえて表すことができます。
問12	答え 支点到近づける	力点と支点の位置を変えない場合、作用点を支点到近づけるほど、小さな力で重いものを持ち上げることができます。
問13	答え 手ごたえが小さくなり、小さな力で持ち上げられる	作用点が支点到近づくほど手ごたえは小さくなり、より小さな力で重いものを持ち上げられるようになります。
問14	答え 作用点	てこを使って、ものに力がはたらく位置のことを「作用点」といいます。
問15	答え てこのうでをかたむけるはたらきの大きさ	てこのうでをかたむける力の大きさは、「おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）」の積で表され、これを「てこのうでをかたむけるはたらきの大きさ」と呼びます。
問16	答え 作用点	空きかんつぶし器は、作用点が支点と力点の間にある道具の例です。